

ふれあい 夢 通信

8号

FUREAI YUME TSUUSHIN
子どもを真ん中に、山口県の教育を考える

山口県教育庁教育企画室
編集ホットライン TEL083・933・4531



特集

ひとりで悩まないで!

子育てに不安を感じたり、子どものことで悩んだりすることはありませんか。
県では、子どもの悩みに関して、適切な助言や支援ができるように、さまざまな相談窓口を開設しています。
あなたも一人で悩まないで、気軽に悩みを話してみませんか。



このごろ気になることはありませんか？

すべての子どもが楽しく生き生きと学校生活を送りたくましく心豊かに成長することはみんなの願いです。しかし、現在、深刻な社会問題となっている不登校の数は、年々増加する傾向にあり、いじめは、発生件数こそ減少しているものの、陰湿化しています。また、非行などの問題行動も、低年齢化しています。例えば、いじめの多くは、単なる遊びのように見せかけて、その事実が先生や親などの目の届かない所で行われます。

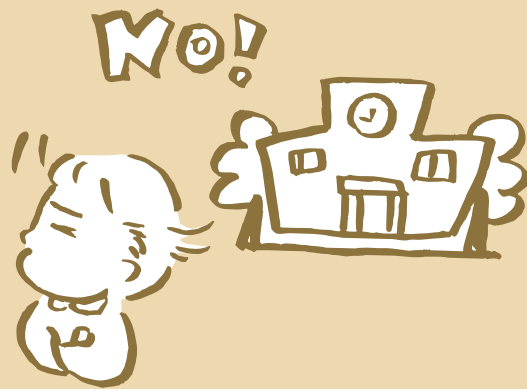
こんな心当たりはないですか？

- 学校や友だちのことを話したがない
- 部屋に閉じこもりがちになる
- 朝、なかなか起きてこない
- 近ごろ、元気がなくなった



さらには

- 持ち物がなくなる
- 身体にあざや傷があり、理由を聞いてもごまかす
- 金遣いが荒くなる
- 体の不調を訴え、登校したがない



これらは子どもたちが発している心のサインです。

小さな変化も見逃さずに、そのサインの陰に隠れている子どもたちの気持ちをしっかり受け止めて、家族が何でも話せるような環境を作りましょう。

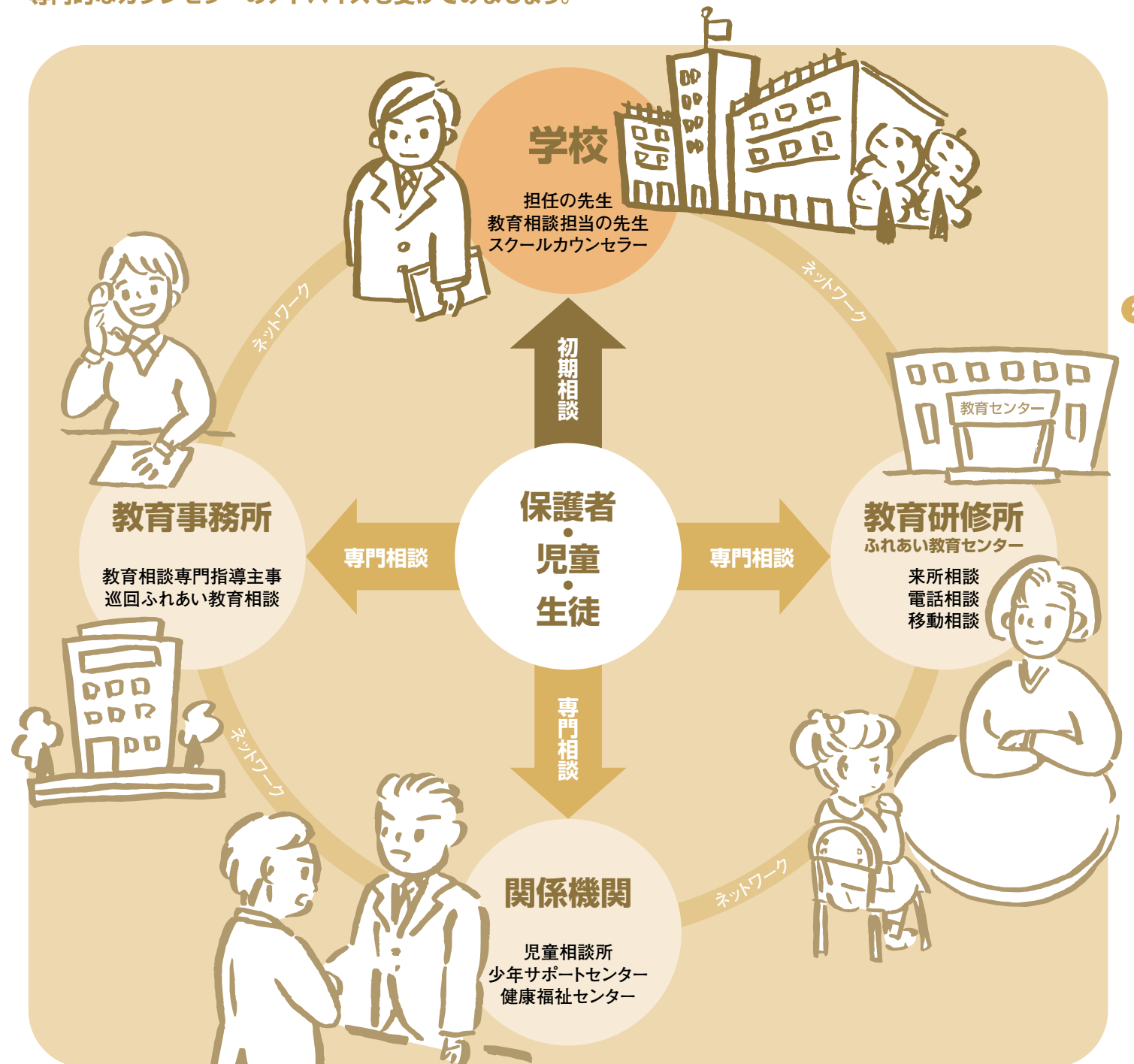
子育てや学校教育に関して悩みや不安をもつあなたへ

学校に相談しましょう!

ちょっとしたことでも気がかりなことがあれば、担任の先生や教育相談担当の先生に、気軽に相談してみましょう。

相談窓口もあります!

学校以外の場所でも、いじめや不登校などのさまざまな悩みについて、親切に相談に応じる機関を設けています。専門的なカウンセラーのアドバイスも受けましょう。



じっくりと親身になって、みなさんのお話を伺います

あなたの悩みを解決するために、一緒に考えましょう。
秘密は堅く守ります。一人で悩まないで、勇気を出して相談してみませんか。
まずは電話をしてみてください。

学校教育、いじめ、不登校など、子育ての悩みや不安について相談するには

【学校での相談】

学校では、担任の先生を中心に、定期的な教育相談を実施したり、専門の相談機関との連携を図ったりしながら、いつでも相談できる環境や体制づくりに努めています。
先生とは違った立場や視点から、いろいろな相談にのってもらえる、スクールカウンセラーや心の教室相談員が配置されている学校もあります。

【教育事務所での相談】

不登校・いじめについて教育相談専門指導主事が親切に相談に応じます。

■受付時間 月～金 8:30～17:15

- 岩国教育事務所 TEL0827-29-1571
- 柳井教育事務所 TEL0820-23-3381
- 徳山教育事務所 TEL0834-21-3595
- 防府教育事務所 TEL0835-22-1072
- 厚狭教育事務所 TEL0836-72-0321
- 下関教育事務所 TEL0832-23-6278
- 萩教育事務所 TEL0838-22-0590

来所による面接相談もできます。(予約が必要です)
臨床心理士などの専門家が、各地域に出向く「巡回ふれあい教育相談」もありますので、各教育事務所にお問い合わせください。

【県教育庁での相談】

□「いじめ110番」 TEL083-923-2264 (県教育庁指導課)

子どものいじめに関する電話相談。
受付時間 月～金 8:30～17:15

□「すくすくテレホン」 TEL083-932-7888 (県教育庁社会教育課)

乳幼児の子育て(家庭教育やしつけ)に関する電話相談

受付時間 月～金 9:00～17:00

※平成12年12月1日～平成13年2月28日の間は時間を延長します。
【夜間受付】TEL083-920-9888 【受付時間】 月～金 17:00～22:00

【ふれあい教育センターでの相談】

山口市秋穂二島1062番地(セミナーパーク内山口県教育研修所)
子どもの教育や発達などの悩みについて、それぞれのスタッフが専門的な立場から相談に応じます。
本人はもちろんのこと、子ども(幼児、小・中学生、高校生)の教育や養育について悩んでいる方はどなたでもお電話ください。

■受付時間 月～金 9:00～17:00

ふれあい教育センター(来所での相談は予約が必要です)
TEL083-987-1242
TEL083-987-1246

■相談の対象

- 教育相談……不登校(園)の子ども
いじめで悩んでいる子ども
子育てやしつけで気になっている子ども
学業で悩んでいる子ども
集団行動や友だちとの遊びが苦手な子ども
就学や進路で悩んでいる子ども
落ち着きのない子ども etc.
- 発達相談……発達・発達に遅れの疑いのある子ども
手足の不自由な子ども
目や耳の不自由な子ども
病弱な子ども
情緒の不安定な子ども
障害が重なっている子ども etc.

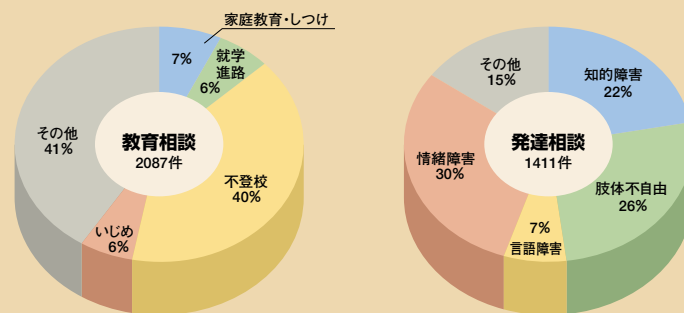
■電話相談専門ダイヤル

- 「ふれあいテレホン」 TEL083-987-1240
TEL083-987-1241
- 「いじめ相談専用電話」 TEL083-987-1202

「ふれあいテレホン」相談員から

電話は、人と人のコミュニケーションの手段として、誰でも気軽に利用できる便利なものです。私たちの「ふれあいテレホン」は、このような電話の持つ特性が存分に生かされ、多くの方に利用していただいています。相談の内容は様々ですが、私たちはお互いの顔は見えなくても、心と声のふれあいを大切にして、みなさん方の悩みをお聞きし、解決の糸口が見つかるよう一緒に考えます。「いつでも、気軽に」お電話ください。

ふれあい教育センターへの相談の内訳(平成11年度)



FUREAI KOUSATEN ふれあい交差点 8



観光客の心に響く 秋吉台子どもガイド 秋芳町立八代小学校

校外学習の一環として、地元の秋吉台の観光ガイドに取り組んでいる八代小学校(全校児童11名)の子どもたちが、観光客や修学旅行生の人気を集めています。この「子どもガイド」は、日頃多くの人と話す機会の少な



クイズです。わかるかな?

い子どもたちに、コミュニケーションの力を身につけさせるとともに、ふるさとの良さをもっと知ってもらいたいとの思いから、4年前に始まったものです。子どもたちは、観光客によくわかるよう話し方の練習をするだけでなく、秋吉台のクイズを考えたり、自分の名前とイラスト入りの名刺を作ったりして、ガイド役もすっかり板に付いたようです。こうした心のこもったガイドは、秋吉台を訪れる



きちんとできました

人々の心を和ませ、とても好評です。学校には、全国からたくさんのお礼の手紙や写真も寄せられ、子どもたちはその返事を書くのを楽しみにしています。

11学年でつくる人文字 鹿野町立鹿野中学校

今年、鹿野町が町制施行60周年を迎えたのを記念して、10月5日、町内の幼稚園児50名、小学生225名、中学生156名、計431名が鹿野中学校のグラウンドに勢揃いして、みんなで



見事に整列!

人文字や町章をつくりました。晴れ渡る秋空の下で、航空写真を撮るヘリコプターに向かって、子どもたちは人文字をつくるための色画用紙を両手で高く掲げます。初めは、全員がなかなか揃いませんでしたが、先生方も一緒になって何度か練習するうちに上手にできるようになりました。ようやく撮影を終えて、OKのサインが出ると、子どもたちは笑顔で空に向かって



やり遂げて、みんな満足

大きく手を振っていました。みんなで協力して創り上げたこの人文字づくりの体験は、学年の違いを超えた子どもたちの絆と、ふるさとを愛する心をより一層強めてくれたことでしょう。

オペラ「カルメン」でプロと共演 県立熊毛北高等学校

「優れた舞台芸術に触れ、感性豊かな子どもたちに」と文化庁が企画する「舞台芸術ふれあい教室」が9月27日、熊毛北高校で開かれ、35名が、「藤原歌劇団」のメンバーとビゼー作曲のオペラ「カルメン」の共演に挑戦しました。



舞台は目の前、特等席

本番に先立ち、参加する生徒たちは、6月末に指揮者や演出家から実際に指導を受け、音楽の授業や昼休み、放課後などを利用して練習を重ねてきました。この日、生徒たちが身近に体験できるようにと体育館のフロアに設けられた舞台では、吹奏楽部員による「前奏曲」の演奏に続いて、迫力ある場面が次々と繰り広げられ、演劇部員だけではなく、校長先生も特別参加して舞



圧倒的なプロの迫力

台を盛り上げていました。館内一杯に響きわたるカルメンとドン・ホセの情熱的な恋の歌や演技は場内を魅了し、詰めかけた保護者や地域の方々からも大きな拍手が送られていました。

※この「舞台芸術ふれあい教室」は、今回、全国の7つの学校が選ばれており、翌28日には山口市の平川中学校でも上演されました。

学校に新しい風を ～先生の実社会体験研修～

先生の社会体験研修って？

社会的視野の広さや豊かな経験は、先生に求められる大切な資質の一つです。先生が子どもたちの夢見る職業や、将来かかわりをもつ社会についてその実態を知り、より深い体験的理解をもつことは、生き生きとした学校づくりを推進する上で、とても重要なことです。

県では、学校に新しい風を吹き込んでいくために、小学校、中学校、高校の先生を民間企業などに派遣する「社会体験研修」を実施しています。

～なんのためにするの？～

急激に変化していく社会の中で、開かれた学校づくりを推進し、さまざまな課題に学校が適切に対応するためには、先生自身が学校の外まで視野を広げているような経験をし、そこで得られたものを学校現場に生かすことが必要です。

～どんな研修をするの？～

「競争社会に生きる企業の厳しさや物事を進める手順などを学び、学校をより活性化させる原動力に」と、小学校、中学校、高校の教頭先生を民間企業に1年間派遣する長期研修は、今年度から全国に先駆けて始められました。現在、10人の教頭先生が、それぞれ管理職としての幅広い資質を培うために民間企業の職場で実務に励んでいます。

従来から行われている夏期休業中の短期研修(3日～5日間)では、担任の先生から校長先生までを含む110人の先生が、学校とは違った職場でさまざまな体験研修を行い、汗を流しました。

研修先の職場は、山口経済同友会等の御協力により、銀行や建設会社、運輸会社、ガソリンスタンドなどの各種企業や社会福祉施設などの幅広い分野に及んでいます。

長期の研修(1年間)

バス会社で 県立響高校 教頭 中嶋幸子

4月以来、総務、経理、旅行、自動車事業の各部署で研修し、空港業務やバスの実態調査、高校や大学への求人活動、Eメール・ソフトの活用等多くの経験しました。8月からは日帰りバス旅行の受注を担当し、電話で何百人ものお客様にツアーの案内をしました。お客様に喜んでいただけるような“楽しいバス旅行”にするためには、「どんな企画をして、どうPRすればよいか」等時間に追われながらも学ぶことの多い毎日でした。半年間で業



時間との戦いを終えて

界内外のいろいろな方と知り合い、民間会社の実情や厳しさ、経済の仕組みなどが少しわかり、世の中の動きも身近に感じられるようになりました。

ガソリンスタンドで 小郡町立小郡南小学校 教頭 上田保明

石油会社の種々の業務体験は、学校を客観的にみるよい機会となっています。中でも、研修開始2週目の給油所での1週間の勤務は圧巻でした。サービス業の第一線に立ち、お客様が何を欲し、何を期待しているのか、給油中の短時間で判断し、“満足”を味わっていただくよう実行する難しさを体感しました。企業の置かれている現状は厳しく、この難局を乗り越えるために、この会社では“顧客満足”を研究中です。学校にとって“顧客”は誰で、“満足”は何かという観点で学校を見直す必要性を強く感じ始めています。



楽しいドライブを

短期の研修

湯田温泉のホテルで(5日間) 光市立室積小学校 教諭 石田博文

お客様を第一に考える姿勢を学びました。ホテルのサービスは、チェックインからチェックアウトまで、いかに気持ちよく過ごしてもらうかが一番大切です。接客サービスのスタンスは教育現場にも合い通じるものがあると感じました。学習指導や学級経営も最終的には教師の人間性によるところが大きいのではないのでしょうか。ちょっとした心配りの積み重ねが、子どもたちと信頼関係を築き、逆に配慮のなさが、子どもたちに不信感をつのらせることになります。



いらしゃいませ

子どもや保護者のことを第一に考え、積極的に様々な声に耳を傾けることは忘れないようにしたいと思います。

清掃会社で(3日間) 徳山市立大津島中学校 教頭 金子美智子

病院の老人保健施設で、病室や喫煙室、トイレなどの清掃の仕事をしました。患者さんの中には入院の寂しさからか、作業中にいろいろ話しかけてこられる方もいましたが、課せられた仕事をこなすことに精一杯の私は、ろくに受け答えもできませんでした。しかし、スタッフの皆さん方は、作業を確実にこなしながら、温かみのある言葉できちんと対応していました。その明るさや思いやり、そして自分の仕事への誇りと責任感は、私に多くの刺激を与え、教師としての私自身を見つめ直す絶好の機会となりました。この研修で学び得たことをこれからの学校教育に大いに生かしていきたいと思っています。



いつも思いやりの心を



目の高さが同じでも、お互いの気持ちわがらうとしなやか 見えてこないよね

ひと言

体験こそ人生の財産



経済同友会 常任幹事
(シズカ・グループ代表)
片野良平

人生における色々な体験は、判断力や感性を磨く好機となり、その人にとっての大きな財産となります。今回の先生方の長、短期研修も大変有意義な企画で、学校教育に携わる先生方が社会の現場を体験する事は、子どもたちの指導や学校運営に大きな効果があると思います。当社でも教頭先生が1年間の体験研修に取り組んでおられます。学校と違い、即結果が問われる企業の厳しさや組織の在り方、コミュニケーションを深めるための種々の研修に日々努力されています。今や社会は大きな変革期を迎えています。情報化や国際化が進み、世界が身近になっていくこれからの社会では、学歴よりも真の人間性や社会を逞しく生き抜いて行く力が問われます。家庭、学校、地域社会が今までより一層連携し、21世紀の子どもたちの応援団になりたいものです。今回の研修がその第一歩となる事を心から期待しています。



イベントカレンダー

12/25(月)～12/26(火)
 プラネタリウム イン セミナーパーク
 ～冬の星座の見つけ方 番組「星占いの星たち」～

対象/小学生以上
 ●県教育研修所 ☎083-987-1190

1/20日(土)～1/21(日)
 ゴックン!大島の幸に舌鼓

対象/子どもとその家族
 ●県大島青年の家 ☎08207-6-0913

1/27(土)～1/28(日)
 ジョイフルスキー

対象/一般、家族 定員/40名
 ●県十種ヶ峰青少年野外活動センター
 ☎08395-8-0033

1/27(土)～1/28(日)
 遊ぼうよ 英語で

●県油谷青年の家 ☎0837-32-1000

2/3(土)～2/4(日)
 手づくり作品に親しもう

～廃品を利用した飾りや海藻の葉書づくり～

対象/小学生以上とその家族 定員/40名
 ●県光青年の家 ☎0833-72-5512

2/8(木) 13:00～16:00
 山口県子どもフォーラム

●周東町パストラルホール
 ☎083-933-4606 (県指導課)

3/3(土)～3/4(日)
 もう春だよ! 黒い秋吉台をハイキング

対象/小・中学生とその家族一般 定員/40名
 ●県秋吉台青少年宿泊訓練所
 ☎0837-62-0106

3/10日(土)～3/11(日)
 春うらら み～んな集まれのびのびデイズ

対象/家族、グループ 定員/40名
 ●県石城山青少年宿泊訓練所
 ☎0820-48-2108

3/10日(土)～3/11(日)
 ふれあいフェスタin大島青年の家

対象/子どもとその家族
 ●県大島青年の家 ☎08207-6-0913

3/10(土)～3/11(日)
 早春の磯の香を求めて

●県油谷青年の家 ☎0837-32-1000



1/7(日)～1/8(月)
 冬の十種ヶ峰に挑戦

歩くスキーで雪山を自由に走りまわってみませんか。ウサギやキツネの足あとにも出会えます。雪の中での昼食も最高。

対象/小学5年生～中学3年生
 定員/50名

●県十種ヶ峰青少年野外活動センター
 ☎08395-8-0033

1/16(火)～3/11(日)
 子供たちの昭和史

20世紀の6割以上を占めた昭和という時代を、なつかしい生活用品のほか、おもちゃやまんがなど、主に子供の視点から振り返る楽しい展示です。

●県立山口博物館
 ☎083-922-0294



2/10(土)～2/11(日)
 洞くつ探検! こうもりウォッチング

洞くつを探検し、洞くつ内に棲む生物を観察してみませんか。洞くつの神秘の世界を体験できます。

対象/小・中学生とその家族
 定員/40名

●県秋吉台青少年宿泊訓練所
 ☎0837-62-0106

2/17(土)～2/18(日)
 ドキドキ・わくわく 山焼き体験

日本最大規模の「秋吉台の山焼き」を親子で体験してみませんか。夜は猪鍋をかこみ美しい星空をながめましょう。

対象/小・中学生とその家族
 定員/50名

●県秋吉台少年自然の家
 ☎08396-2-0581



2/24日(土)～2/25(日)
 あったか体験 ほっと驚く石城塾

柳井市の伝統工芸「金魚ちょうちん」作りに挑戦!オリジナルな金魚を作りましょう。

対象/小学4年生以上とその家族
 定員/40名

●県石城山青少年宿泊訓練所
 ☎0820-48-2108



編集室から

「ふれあい夢通信」の内容を充実させるために、皆様からのご意見や感想をお待ちしています。今後取り上げたいテーマなどがありましたら、教育企画室までお知らせ下さい。

山口県教育庁教育企画室
 住所 〒753-8501 山口市滝町1-1
 電話 083-933-4531
 ファックス 083-933-4539
 電子メールアドレス fureaiyu@ce.mbn.or.jp